

## 第 15 回大会宣言（案）

本日、全国ユニオンは第 15 回大会を迎えました。

2002 年 11 月 3 日全国ユニオンを結成以降、社会は大きく変貌しています。15 年前、今ほど雇用が劣化し、格差が拡大し、かつ、戦争が身近になることをだれが予想できたでしょう。

東日本大震災の復興が遅々として進まない中、追い打ちをかけるかのように熊本でも大規模な地震が発生しました。にもかかわらず、政府は川内原発を止めようとせず、新たに愛媛の伊方原発の再稼働を強行しました。

政府・与党は恩恵を受ける人が極めて少ないアベノミクスの成果を強調して、戦争法の強行採決をうやむやにし、参議院選挙で議席を伸ばしました。衆参両院で改憲が可能な 3 分の 2 を確保し、一層、戦争ができる国づくりを推し進めています。

労働法制においては、昨年の通常国会で「一生ハケンで低賃金」を固定化させる派遣法の改悪が成立しました。「定額働かせ放題」の労働時間規制の緩和は継続審議のままで、解雇自由化の法制化についても議論が進められています。

その一方で、政府は同一労働同一賃金、働きすぎの防止など立法の方向とは相反する取り組みを進めています。

低賃金・無権利・不安定雇用におかれている非正規労働者は今や全雇用労働者の 3 分の 1 を占めています。ワーキングプアや底の抜けたような貧困は、着実に社会・地域に広がり、多くの市民・労働者から希望を奪っています。

全国ユニオンは、これまでも現場の労働者の実態をとらえ、社会に発信してきました。解決・改善のために闘い、労働者として生き、誇りを取り戻す運動を展開してきました。また、ディセントワークの実現を掲げ、あらゆる働き方をしている労働者の権利確立、均等待遇の実現、非正規労働者の組織化をかかげ、社会的労働運動の推進に全力を注いできました。正規も非正規もすべての労働者の尊厳ある働き方の確立、安心できる居場所のある地域づくりに向けた取り組みが求められています。その実現が、戦争法の発動に歯止めをかけることにもつながるものと考えます。

私たち全国ユニオンが推し進める運動の先に、働く者の「希望」があります。確信をもって希望に向けた運動を展開していきましょう。

以上、宣言する。

2016 年 8 月 20 日  
全国ユニオン第 15 回定期大会